



発行日：2015年8月31日
 発行元：熊本地域リハビリテーション広域支援センター熊本機能病院
 お問い合わせ：熊本機能病院内
 〒860-8518 熊本市北区山室6丁目8-1
 TEL：096-341-0511 FAX：096-341-0512 Email：kc-chiikireha@juryo.or.jp
 担当：東利雄（理学療法課 課長補佐）

地域リハビリテーション広域支援センターの役割

地域リハビリテーションの理念に基づいて熊本県の委託を受け、熊本市北区の中で、リハビリテーションに関わる関係機関および地域に住む人々の相談・支援を行う施設です。また、圏内の介護老人福祉施設の相談・支援も行います。

第28号発行に添えて ～ご挨拶～

長い梅雨を終えて猛暑が続いています。戦後70年は記録に残る気候となりそうです。平成27年度から熊本県地域リハ広域支援センターの委託業務の一環として、「災害時には市町村及び熊本県災害派遣福祉チーム（熊本D-CAT）等と連携し、避難所等での生活不活発病対策などの支援活動に取り組む」ことが明記されました。

時を同じくして、熊本でも「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（以下、JRAT）」が発足し、4月4日に第1回熊本県災害リハビリテーション推進協議会研修会が開催されました。JRATの活動の目的は、行政に呼応して、災害時にリハ専門職が連携して速やかに適切な対応ができるように、多職種災害リハコーディネーターを養成し組織化しておくことにあります。災害リハコーディネーターは、被災地住民、避難所や福祉避難所の方々に、必要なリハサービスを提供するための調整を行ったり、支援に駆けつけるリハ専門職のリーダーとして現場で活動したり、被災地に出向いて現地の行政やJRATと協働して活動することが想定されます。

JRATが活動する機会が無いに越したことはありませんが、不測の事態にいつでも対応できる体制と、その体制を実際に運用するための人材を育成することも、地域リハ広域支援センターの重要な業務であることを自覚して、JRATの活動に積極的に参加して行きたいと思えます。

熊本地域リハビリテーション広域支援センター 熊本機能病院
 センター長 中西 亮二

平成27年度

川上地区（北部） 体力測定会の報告

川上地区では、月に1回コミュニティセンターで地域のサポーターを中心に健康教室を開催しています。その教室では、運動の効果を確認するために、年に2回体力測定会を広域リハのスタッフと一緒に実施しています。今回で3回目となり、今年度最初の体力測定を4月に開催し、握力、開眼片足立ち、5m歩行を実施しました。

教室に定期的に参加されることにより、効果が上がっている方もおり、このように定期的に行われる健康教室の重要性を感じる事が出来ました。

測定後は、体力アップのための運動指導を行いました。教室での運動に加え自宅で継続して運動を実施することにより、更に運動の効果を高めることができます。そのため、運動方法だけでなく、自宅でどのように実施していくかのアドバイスも伝えるように意識しています。



ささえりあ北部のスタッフの皆様は、自宅でのトレーニングが継続出来るように記録表を作成し、サポートされています。

これからの介護予防は地域におけるウエイトが大きくなっており、住民主体の継続的な健康教室がとても重要になってきます。これからも、地域住民の皆様が互助の力を活かして、継続的に健康教室を実施できるように教室の立ち上げや継続支援に関わっていきたいと思えます。

熊本機能病院併設 熊本健康・体力づくりセンター
 荒井久仁子・山下亮



◆失語症の方への対応の仕方◆

前回より各言語障害についてご説明をさせていただいています。

今回も前回に引き続き失語症のお話をさせていただきます。前回の話と重複する部分もありますが、失語症の方への対応についてより具体的にお伝えできたらと思います。

失語症の方と関わる時には視覚的な情報を利用するのが一番のポイントです。



で 出かける

- ・ 食事 しょくじ
- ・ 買い物 か ぶいもの
- ・ 病院 びょういん
- ・ 散歩 さんぽ
- ・ その他の用事 ほか ようじ

じたくふきん ちず
自宅付近の地図

【エスコアール出版部「失語用会話ノート」より】

例えば、品物名がなかなか出てこない時には、いくつか絵をお見せして該当する絵を指差してもらいましょう。そこで、お勧めしたいのがコミュニケーションボックスの作成です。失語症の方が周囲の方とコミュニケーションをとるのに役立つグッズを集めて、カラーボックスなど一カ所にまとめておくのです。例えば、地図、アルバム、電話帳、アドレス帳、辞書など互いに見て解りやすい物を用意しておきます。

みまわりの品 <small>まわりのしな</small>	かばん <small>かばん</small> 鞆	めがね <small>めがね</small> 眼鏡
とけい <small>とけい</small> 時計	しんぶん <small>しんぶん</small> 新聞	でんわ <small>でんわ</small> 電話
ノート	えんぴつ <small>えんぴつ</small> 鉛筆・消しゴム	ペン

【エスコアール出版部「失語用会話ノート」より】

例えば、木工業で趣味は園芸の失語症の方がおられました。その方は木材名を書いた木片、欄間や障子などの写真、仕事仲間の名前に印をつけた電話帳、仕事先の地名に印をつけた地図、算盤、名前を書き込んだ家族写真、メモ用紙と鉛筆、植物図鑑などを、カラーボックスにまとめておられました。木材名が言えない時には木材名を書き込んだ木片を差し出されます。植えたい花の名前が出てこない時には植物図鑑を出されます。こちらが言った数字が聞き取れない時には算盤で示すように頼まれます。コミュニケーションボックスを一緒に作るとご本人の趣味や活動の様子も

よく分かります。一緒にいろいろな物を用意していく中で失語症の方との交流が深まり、信頼関係を築く事が繋がっていきます。その信頼関係が、スムーズなコミュニケーションの基盤になるはずで、失語症にはいくつかタイプがあり、タイプにより関わり方も違いますので、詳しくはどうぞ担当のSTまでお尋ね下さい。

熊本機能病院 言語聴覚士 井上理恵子

高齢者の栄養評価

～嚥下スクリーニングツール EAT-10(イ・ト・テ)～



摂食・嚥下機能の低下を簡易的に知る方法として、EAT-10(Eating Assessment Tool)の有用性が報告されています(下図)。経時的に確認することにより、状態の変化にいち早く気付くことができます。また、感覚ではなく客観的に判断できる数字で記録しておくことにより、アセスメントとしての役割も期待されます。「使用説明書」も別紙に1枚あり、評価は4～5分で終了します。

EAT-10(イ・ト・テ)：嚥下スクリーニングツール

目的 EAT-10は嚥下の機能を測るためのものです。気になる症状や治療についてはかかりつけにご相談ください。

A. 指示 各質問で、あてはまる点数を四角の中に記入してください。
問：以下の問題について、あなたはどの程度経験されていますか？

質問1：飲み込みの問題が原因で、体重が減少した 0=問題なし 1 2 3 4=ひどく問題	質問6：飲み込むことが苦痛だ 0=問題なし 1 2 3 4=ひどく問題
質問2：飲み込みの問題が外出に行くための障害になっている 0=問題なし 1 2 3 4=ひどく問題	質問7：食べる喜びが飲み込みによって影響を受けている 0=問題なし 1 2 3 4=ひどく問題
質問3：液体を飲み込む時に、余分な努力が必要だ 0=問題なし 1 2 3 4=ひどく問題	質問8：飲み込む時に食べ物のがどにひっかかる 0=問題なし 1 2 3 4=ひどく問題
質問4：固形物を飲み込む時に、余分な努力が必要だ 0=問題なし 1 2 3 4=ひどく問題	質問9：食べる時に咳が出る 0=問題なし 1 2 3 4=ひどく問題
質問5：錠剤を飲み込む時に、余分な努力が必要だ 0=問題なし 1 2 3 4=ひどく問題	質問10：飲み込むことはストレスが多い 0=問題なし 1 2 3 4=ひどく問題

B. 採点 上記の点数を足して、合計点数を四角の中に記入してください。合計点数(最大40点)

C. 次にすべきこと EAT10の合計点数が3点以上の場合、嚥下の効率や安全性について専門医にご相談することをお勧めします。

*EAT-10のシート、「使用説明書」はネスレヘルスケアサイエンスのHPよりダウンロードできます。

管理栄養士 村上奉子

編集後記

皆さん、この夏はいかがお過ごしだったでしょうか。私は、草取り最中に気分不良になるという経験をしました。自分は熱中症にならないと根拠なく思っていたのですね。まだまだ残暑が続きます。皆さんもお体には、くれぐれもお気を付けて下さい(井上理恵子)